



令和8年 1月30日（金）なかよし幼稚園

展覧会の裏側の話

園長 清水 弘美

先日の展覧会にはたくさんの方にご来場いただきました。ありがとうございました。高校の理事長・校長・教頭先生たちも見に来てくださいり、想像以上の出来栄えに驚いていかれました。私も4年前に初めて本園の展覧会を見た時には驚きました。

日常の保育室が夢の国になっていて、その中に、子供たちの作品が成長を感じられるように計画的に展示されています。さらに作品の良さが伝わるようにコメントや子供たちの姿も一緒に飾られていて、全員が自分事として楽しめる空間っていました。

多くの保護者の方が、我が子や孫の作品を見て成長を楽しんだり、他の学年の作品から、いつかこんなことができるようになるのかと楽しみに思ったりなさったと思います。そんな中で少し別の視点で寄せていただいた感想がありました。

・・・(前略)・・・ 先生たちが、サンタの手の形に一つ一つ切って子供たちに配ったり、モンスターの目やメガネなど、一つ一つくり抜いたものを用意したりしたなど、子供たちの作品制作力を高める先生方の教材研究力がすばらしいと感じました。

あと、いつも驚かされるのが、先生方が子供たちの作品制作にまつわるエピソードを教えてくださることです。どんな状況で製作したのかだけでなく、このときあの子はどんな状況だったとか、この子はこんなことが好きだからこんなことを描いているとかクラス関係なくどの先生もお話してくださるので、幼稚園全体で子供たちのことを見てくださっていることを感じます。

子供たちの児童理解、教材研究力、授業力すべてが高い先生方が揃っているなかよし幼稚園は本当にすごい幼稚園です。　・・・(後略)・・・

我が子の作品だけでなく、働いている教職員の工夫や努力を想像してくれたことを、教職員一同とてもうれしく思いました。

例えば、もも組さんができることは、なぐり書きとスタンプを押すこと、シールを張ることくらいですが、そこに遊びという教育活動を通しつつ、まとめ方を工夫して作品にしていきます。これは、本園の「飾るための作品を作る」ことを目的にしないという教育方針にそった活動になっています。

どの年齢の子どもたちも十分な体験を楽しんでから、自由な表現を保障し、最終的に見栄えのいい作品にまとめていくことで、子供に満足感を持たせる教育活動です。

そんな風に見てみると、また幼稚園の行事の楽しみ方が変わってきますね。

沢山の温かいご感想をありがとうございました。

